



大津市公式アプリ ポケットおおつについて

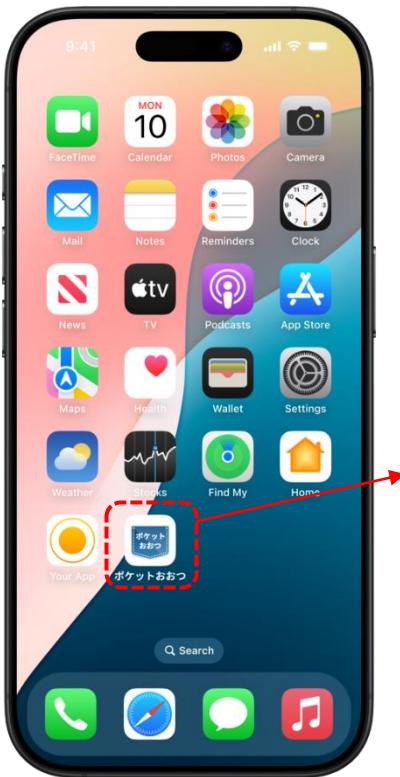
令和7年12月11日
総務常任委員会 報告事項 資料
政策調整部情報政策課DX推進室

ポケットおおつの構想



「大津市のデジタルサービスをぎゅっと1つのアプリに。」

多様化したデジタル行政サービスを集約する住民ポータルアプリ



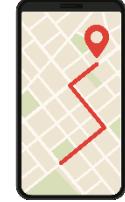
アプリ名とアイコン
↓
ポケットに入る
大津市役所をイメージ



ポケットおおつのテーマと 主な利用シーン



「使って便利、持っていて安心。」
日常での便利と、非常時の安心が手に入るアプリ

日常での便利	非常時の安心
 <p><u>自分の好みの情報が すぐに見つかる</u></p>	 <p>スマートフォンの位置情報を元に、 最寄りの避難所と経路をお知らせ</p>
 <p><u>市のデジタル行政サービスに かんたんにアクセスできる</u></p>	 <p>避難所受付が二次元コード読取で 即座に完了</p>
 <p><u>イベント参加、施設利用などで ポイントが貯まる</u></p>	 <p>ご家族等がどこに避難しているか 安否情報が確認できる</p>

正確な利用者情報を活かした デジタル行政サービスの展開



防災

- ・ 二次元コードの読み取りにより、迅速な避難所受付
- ・ 避難所での必要物資などを把握可能
- ・ 特定の住民に対して、メッセージを送付可能



おしらせ

- ・ 属性(住所、年齢、性別)に応じたメッセージ配信
- ・ 住民情報を元に最適な順に記事を表示
- ・ 画像やPDFの送付も可能



イベント

- ・ イベントでの入退場受付
- ・ 参加者の属性などを統計可能
- ・ ポイント機能と連携することで参加率向上を図る



アンケート

- ・ 属性で回答対象者の制限が可能
- ・ 集計結果をリアルタイムに把握可能
- ・ 結果を公開することも可能



ポイント

- ・ アプリ登録やイベント参加時にポイントを付与
- ・ 抽選により、景品付与対象者を決定

ポケットおおつの機能(操作画面)



1

マイナンバーカード活用

- ・マイナンバーカードの電子署名で登録
- ・取得情報：氏名/住所/生年月日/性別
- ※個人番号（マイナンバー）は登録しません
- ・生涯1人1アカウント
- ・電話番号やメールアドレスも追加可能
- ・住所や氏名の自動更新にも対応
- ・民間資格や職歴や学歴も追加可能
- ・スマホJPKIによる登録（予定）

3

使えるミニアプリ表示

- ・ユーザー属性に応じてミニアプリを表示
- ・個人情報提供の同意取得
- ・外部サービス（都市OSなど）とのID連携
- ・ミニアプリ間のデータ連携



2

二次元コード読み取り

- ・アプリが関連する二次元コードの読み取り
- ・二次元コードを読み込んでミニアプリを自動インストール

4

自治体からの通知

- ・ミニアプリが発信するプッシュ通知の受信
- ・住所宛のほか、ミニアプリごとの宛先も
例）「避難所Aの避難者宛」など

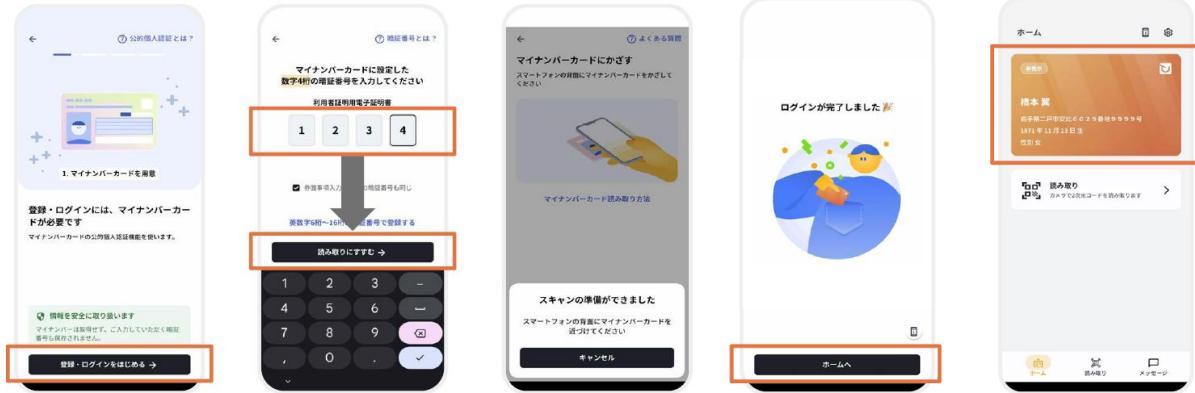
アプリの登録方法

——マイナンバーカードの場合——



迷わず負担感のない操作で、容易に登録が可能

準備物:「スマートフォン(NFC対応)」「マイナンバーカード」「4桁の暗証番号」



「登録・ログインをはじめる」
※利用規約に同意後

2
マイナンバーカードの数字4
桁の暗証番号入力を
入力して
「読み取りにすすむ」

3
マイナンバーカードを
端末のカード読み取位置に
くっつける

4
「ホームへ」

5
デジタル身分証が
発行される

アプリの登録方法

——メールアドレスの場合——



メールアドレスでの登録も可能

ただし、機能が一部制限されます(防災機能は利用可能)

1. アプリをインストール
2. 利用規約に同意後、メールアドレスを入力
3. 受信したメールから、登録手続きを完了する
4. 登録完了

利用可能



防災

(厳格な本人確認が必要であるため)利用不可



イベント受付



おしらせ



ポイント



アンケート

ポイント事業 ——貯め方——



ポイント取得場面を拡大し、日常に溶け込むアプリを目指します

アプリ登録時にポイント付与



300pt

市主催イベント等参加時に付与



10~300pt

- **アプリ登録時にポイントを付与**
- **市主催イベント参加時にポイントを付与**
- 今後は、市主催イベントのほか、地域のボランティア参加時などにも
ポイント取得できるよう、検討を進めます。

ポイント事業 ——使い方——



デジタルギフト「クオ・カード ペイ」を抽選でプレゼント



景品予算:2,000千円(令和7年度)

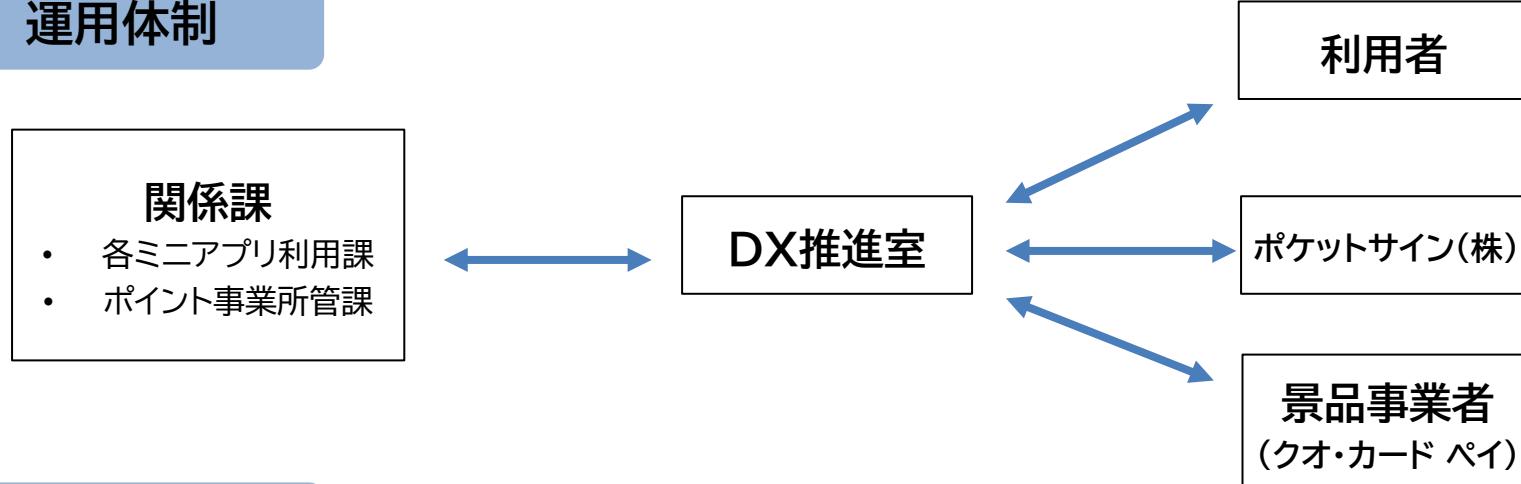
1,000円分の電子マネー×2,000人



- 抽選を行い、合計で2,000人に景品を送付
- 抽選の応募は、1口あたり300ptが必要
- 抽選受付は令和8年1月下旬、抽選実施は同年2月(予定)

運用体制と目標

運用体制

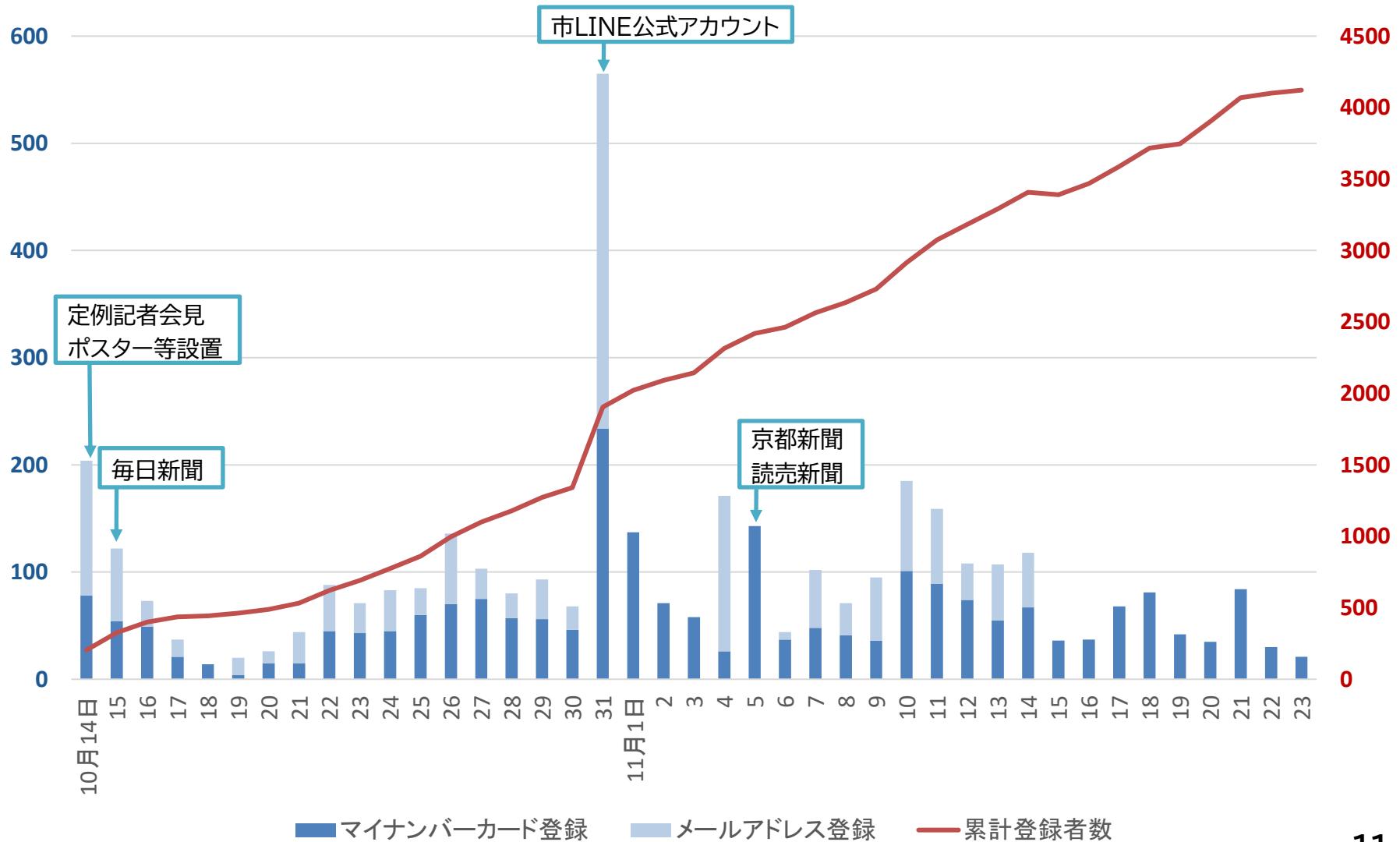


目標

KPI①※ アプリのインストール数	種別	アウトプット	単位	ダウンロード数
KPIの概要、測定方法	アプリがダウンロードされた累計数。アプリストアにて確認し測定する。			
2025年度末	2026年度末		2027年度末	
3,000	15,000		30,000	
KPI②※ アプリの満足度	種別	アウトカム	単位	ポイント
KPIの概要、測定方法	アプリを利用した人を対象とした5段階評価アンケートの平均値。 アプリ内のアンケート機能を利用して、利用者に回答してもらうことで測定する。			
2025年度末	2026年度末		2027年度末	
3.0	3.5		4.0	

登録者数の推移

令和7年11月23日現在



マイナンバーカード登録者の属性

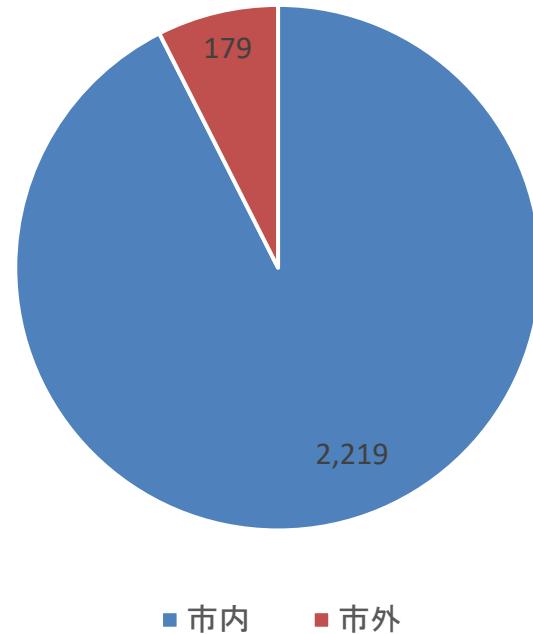
登録者数(メールアドレス登録含む。)

4,122人

うちマイナンバーカード登録者数

2,398人
(58.2%)

市内・市外



登録者増に向けた取組

チラシ及びPOPの制作・配布

- ・ 庁内の全窓口にPOP設置依頼
- ・ カード交付推進室には大型ポスター



大津市総合防災訓練

- ・ 登録相談会
- ・ 訓練参加者へのポイント付与



イベントでのPRとポイント付与

- ・ 赤十字奉仕団研修会
- ・ 介護フェスタ
- ・ 保育のしごとマッチングフェスタ
- ・ 男女共同参画イベント
- ・ こどもの自転車教室 等



【今後の予定】

学区防災訓練等でのPRや実証

- ・ 学区での説明会や実証を検討中
- ・ 初回は富士見学区での開催予定

施設利用でのポイント付与

- ・ 老人福祉センター
- ・ 歴史博物館

順次拡大予定

スケジュール

	10	11	12	R8.1	2	3
PR		⑭ 定例記者会見 ① 広報おおつ11/1号				
登録支援 (防災)		⑨ 大津市総合防災訓練				
運用開始	⑭ 運用開始					
抽選・景品送付				1月下旬 抽選受付 2月 抽選・送付(予定)		
効果検証				利用者 アンケート		

令和8年度以降の取組



登録者の増加	機能の拡充	内容の充実
<p>市民生活に関連したミニアプリの導入 (ゴミ出しカレンダー、インフラ通報など)</p>		
<p>景品の拡充検討 (地域の特産品など)</p>	<p>ポイント取得機会の充実 (お知らせ開封、アンケート回答、施設利用など)</p>	

登録URL



iPhone
の方はこちら



Android
の方はこちら



※NFC対応のスマートフォンで登録が可能です。

NFC(Near Field Communication)は、「近距離無線通信」と訳される技術で、近くにあるデバイス同士が短距離でデータをやり取りするための機能で、おサイフケータイやタッチ決済機能が搭載されているスマートフォンのことです。